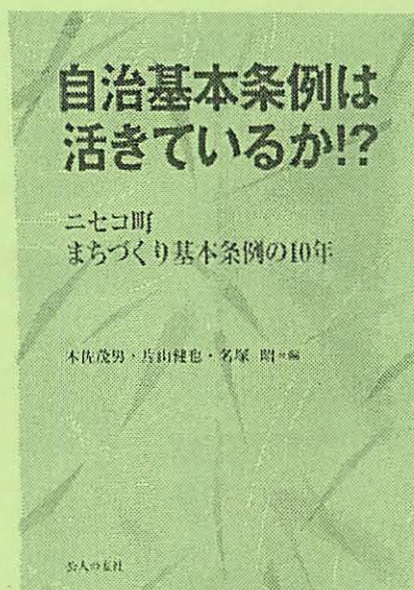


自治基本条例は 活きているか!?

ニセコ町まちづくり基本条例の10年



A5判 278頁
定価 2,730円 (本体2,600円+税)
ISBN978-4-87555-600-8

編者:

木佐茂男(九州大学教授)
片山健也(ニセコ町長)
名塚 昭(釧路市職員)

※本書は、ニセコ町条例の当初の制定期にたまたま立ち会うことができた者が、この10年を振り返って、まちづくり基本条例が果たした役割、なお果たし切れていない役割、残っている課題などを、回顧的に論じようと企画したものである。

112-0002 東京都文京区小石川5-26-8
公人の友社 TEL 03-3811-5701
mail info@koujinnotomo.com

FAX 03-3811-5795

注文書

期間限定特価 (税込)

注冊数	定価	特価 (単価)
1~4冊	2,730円	2,450円 (10%引き)
5冊以上	2,730円	2,180円 (20%引き)

送料当社負担

お申し込み方法

- ・特価での販売は、本「注文書」でFAXによるお申込に限ります。
- ・代金は後払いです。書籍に同封の郵便振替用紙(手数料小社負担)にてお振込ください。銀行振込も可能です。
- ・なお、書籍到着後1週間以内にお振込ください。

・特価扱い締切日 **2012年5月31日**

お申込冊数 冊

送り先 〒
住 所

お名前

TEL

公費の場合 請求書宛名

郵便振込 ・ 銀行振込

見積書 要 ・ 否 納品書 要 ・ 否 領収書 要 ・ 否 領収書宛名

自治基本条例は生きているか!?

ニセコ町まちづくり基本条例の10年

【目次】

はしがき (木佐茂男)

【対談】

第1部 自治基本条例のその後と展望

九州大学法学研究院教授・木佐茂男

ニセコ町総務課長・加藤紀孝

1 基本条例は何を変えたか

「まちづくり基本条例を作っても、町は変わらない」と

言い続けたが

基本条例が発展させる「文化」

データで見る基本条例制定後

基本条例を知った上で移住して来る？新町民

町民参加の拡大と拡充

ニセコ条例の「呪縛」？

【コラム1】基本条例制定決議に参加して

【コラム2】見えない条例〜ニセコ町まちづくり

基本条例

2 行政が動き続ける

情報共有の実践（予算説明書、通信手段、景観条例な

どから）

有線放送の廃止問題

町長がツイッター発信、町は動画配信

議論慣れの風土へ

自治体公文書管理（ファイリング・システム）

ジカンの無駄を省く意識は？

まちづくり専門スタッフの組織的育成

コンプライアンス規定の難しさ

住民とのコミュニケーションは？

『もっと知りたいことしの仕事』の活用

災害対策・危機管理

【コラム3】景観という財産を守り育てるニセコ

町景観条例

3 町民視点からの検証

子どもの自治、子ども参加

子どもだけの審議会

高校生の参加

住民参加が進んでいくと住民と職員の関係は？

まちづくりの法的仕組みの難しさ

町民・職員に予知力が要る

法曹教育、政策法務も自治への力に

高齢者のまちづくり参加

多角的な情報伝達回路の確保を

情報の相互扶助

基本条例での参加保障

コミュニティのあり方

議会の変化と課題

住民として動くほうが速い？

【コラム4】まちづくり基本条例10年に寄せて

【コラム5】まちづくり基本条例策定に関わって

4 条例を生み出し、育てる

ゼロからの制定作業

基本条例の周知度

自治（まちづくり）基本条例に規範性？

広域連携の実践

条例制定理由の甘さとは？

条例の体系化

内部告発制度は？

議会改革は遠い？

【コラム6】農業振興の光明〜ニセコビュープラ

ザ直売会

5 「自治体憲法」であるために

基本条例の2度目の重要改正を終えて

情報共有からコミュニケーションの熟成へ

自治（まちづくり）基本条例と議会基本条例

自治体憲法であるために

【コラム7】ニセコ町まちづくり基本条例とまち

づくり

第2部 ニセコ町長へのインタビューから見る自治への展望

Interviewer: 九州大学法学研究院教授・木佐茂男

Interviewee: ニセコ町長・片山健也

第3部 ニセコ町まちづくり基本条例10周年記念シンポジウムの記録から

自治基本条例をより深く理解したい人へ

あとがき (片山健也)

【資料】

ニセコ町まちづくり基本条例（本文）

ニセコ町まちづくり基本条例の手引き